

検討結果一覧表（総括表）

資料4-2

COD				①水域の利用状況								COD 75%値(mg/L)							類型見直しの必要性									
				類型指定当時				現状(R5)				類型指定時の水質	類型指定時の水質より想定される類型	現状（R5）	直近10年の平均値	最小～最大 (H26～R5)	環境基準達成状況 (H26～R5)	現状水質での類型	③利用状況の変更	水質								
No.	湖沼名	類型	達成期間	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水																	水質の状況
1	栗駒ダム	AA	イ	○	2級			※	2級		農業	1.9 (S47平均)	A	1.9	1.7	1.2～2.1	0/10	A	有(利用状況では水道用水によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	A	有	イ	10/10	栗駒ダム	
2	花山ダム	AA	イ	○	2級			※	2級	2級		2.1 (S47平均)	A	2.9	2.6	2.2～3.1	0/10	A	有(利用状況では水道用水によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	A	有	イ	9/10	花山ダム	
3	鳴子ダム	AA	イ	○	2級			※		漁獲なし	農業	2.1 (S47平均)	A	1.9	2.0	1.6～2.6	0/10	A	有(利用状況では水産利用によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	A	有	イ	10/10	鳴子ダム	
4	伊豆沼	B	イ			3級	農業			商業的漁獲なし	農業	6.3 (S48平均)	C	23	14.6	9.1～23	0/10	C	有(利用状況では水産利用によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともCに該当)	×	○	B	有	(ハ)見送り	0/10	伊豆沼	
5	長沼ダム	B	イ			3級	農業			商業的漁獲なし	農業	6.6 (S48平均)	C	13	9.4	7.1～13	0/10	C	有(利用状況では水産利用によりAに該当) ※天然湖沼→人工湖沼に変更	有(類型指定時・現状の水質ともCに該当)	×	○	B	有	(ハ)見送り	0/10	長沼ダム	
6	漆沢ダム	AA	イ	○	2級			※	2級	2級	工業	2.5 (S55)	A	3.2	3.4	2.5～4.3	0/10	B	有(利用状況では水道、水産利用によりAに該当) ※R18に洪水調節専用ダムに変更予定	有(類型指定時の水質はA、現状はBに該当)		○	A	有	ハ	2/10	漆沢ダム	
7	南川ダム	A	ハ		2級	2級	農業		2級	2級		3.4 (H4～6)	B	3.6	3.5	2.9～3.8	0/10	B	無(利用状況変更あるが該当類型の変更なし)	有(類型指定時・現状の水質ともBに該当)	×			有	ハ	1/10	南川ダム	
8	釜房ダム	AA	イ	○	2級			※	2級	2級	農業、工業	1.1 (S47平均)	A	3.2	2.7	2.3～3.2	0/10	B	有(利用状況では水産利用によりAに該当)	有(類型指定時の水質はA、現状はBに該当)		○	A	有	イ	9/10	釜房ダム	
9	大倉ダム	AA	□		1級	1級	農業、工業1級		2級	2級	農業、工業1級	1.5 (S48平均)	A	2.4	2.4	2.0～3.0	0/10	A	有(利用状況では水道、水産利用によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	A	有	イ	10/10	大倉ダム	
10	樽水ダム	A	イ		2級				2級			3.3 (S52)	B	4.0	3.8	3.4～4.4	0/10	B	無	有(類型指定時・現状の水質ともBに該当)	×			有	ハ		樽水ダム	
11	七北田ダム	A	イ		2級				2級			2.8 (H5)	A	4.7	3.9	3.2～4.8	1/10	B	無	無(類型指定時の水質はA、現状はBに該当)	×			有	ハ		七北田ダム	
12	七ヶ宿ダム	A	イ	○	2級	1級	農業	※	2級	2級	農業	1.9 (H10)	A	2.5	2.3	2.0～2.5	10/10	A	無(利用状況変更あるが該当類型の変更なし)	無(類型指定時・現状の水質ともAに該当)	×			無			七ヶ宿ダム	

【達成期間】
イ:直ちに達成、□:5年以内で可及的速やかに達成、ハ:5年を超える期間で可及的速やかに達成
【水域の利用状況(現状)】
・水産については、現在漁業権が設定されている魚種のうち、最上位の水産区分を記載。
・オレンジ色は、変更があった目的
※
・「人工湖沼における利用目的の適応性に関する課題について」(平成15 年中央環境審議会水環境部会陸域環境基準専門委員会)の見解を踏まえた場合、該当しないこととなる。

【水産利用について】
水産利用については、第5 回陸域環境基準専門委員会(H15.2.21)において「水質保全の目標であり、現状を踏まえた目標として、漁業権魚種による機械的な判定はあらため、漁業権も踏まえつつ、指定権者が地域の意見を十分聴取して指定すべきもの。一律の判定基準にはなじまない。」とされている。

T-P				②水域の利用状況								T-P 年平均值(mg/L)							類型見直しの必要性		⑤類型指定要件			⑤利水及び水質等に基づく類型指定（案）	⑥達成期間見直しの必要性	⑦達成期間見直し（案）	あてはめ環境基準達成状況（H26～R5）	湖沼名	
				類型指定当時				現状(R5)				類型指定時の水質	類型指定時の水質より想定される類型	現状（R5）	直近10年の平均値	最小～最大(H26～R5)	環境基準達成状況（H26～R5）	直近10年の水質での類型	④利用状況の変更	③上位類型の達成	特定施設の有無	燃含有量についての排水基準適用							⑥絞り込み結果
No.	湖沼名	①類型	達成期間	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水																		
1	栗駒ダム								2級		農業			0.008	0.011	0.005～0.03 ※最大値はダム内工事の濁水影響によるもの		Ⅱ ※工事影響除く			有	有	○	必要なし	×				栗駒ダム
2	花山ダム								2級	1種				0.013	0.014	0.01～0.019		Ⅲ (0.03)			無	有						花山ダム	
3	鳴子ダム									漁獲無し	農業			0.019	0.018	0.015～0.019		Ⅲ (0.03)			有	有	○	必要なし	×			鳴子ダム	
4	伊豆沼									商業的漁獲なし	農業			0.110	0.099	0.072～0.13		V (0.1)			有	有	○	(V)見送り	○	(ハ)見送り	6/10	伊豆沼	
5	長沼ダム									商業的漁獲なし	農業			0.043	0.046	0.030～0.120		V (0.1)			有	有	○	必要なし	×			長沼ダム	
6	漆沢ダム								2級	1種	工業			0.017	0.026	0.017～0.035		Ⅲ (0.03)			無	有						漆沢ダム	
7	南川ダム	Ⅱ	ハ		2級	1種	農業		2級	1種		0.013 (H4～6)	Ⅲ	0.014	0.017	0.013～0.025	0/10	Ⅲ (0.03)	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×					○	ハ	0/10	南川ダム	
8	釜房ダム	Ⅱ	二	○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業、工業	0.018 (S57～59)	Ⅲ	0.020	0.017	0.014～0.022	0/10	Ⅲ (0.03)	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×					○	二	0/10	釜房ダム	
9	大倉ダム	Ⅱ	二		1級	1種	農業、工業1級		2級	1種	農業、工業	0.014 (S57～59)	Ⅲ	0.008	0.009	0.007～0.01	10/10	Ⅱ (0.01)	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×					○	イ	10/10	大倉ダム	
10	樽水ダム								2級					0.012	0.014	0.010～0.020		Ⅲ (0.03)			無	有						樽水ダム	
11	七北田ダム	Ⅱ	ハ		2級				2級			0.015 (H5)	Ⅲ	0.019	0.021	0.016～0.030	0/10	Ⅲ (0.03)	無	×					○	ハ	2/10	七北田ダム	
12	七ヶ宿ダム	Ⅱ	イ	○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業	0.01 (H10)	Ⅱ	0.009	0.008	0.007～0.009	10/10	Ⅱ (0.01)	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×					×			七ヶ宿ダム	

【達成期間】
イ:直ちに達成、ロ:5年以内で可及的速やかに達成、ハ:5年を超える期間で可及的速やかに達成
【水域の利用状況(現状)】
・水産については、現在漁業権が設定されている魚種のうち、最上位の水産区分を記載。
・オレンジ色は、変更があった目的
※ ・「人工湖沼における利用目的の適応性に関する課題について」(平成15 年中央環境審議会水環境部会陸域環境基準専門委員会)の見解を踏まえた場合、該当しないこととなる。

T-N				水域の利用状況								T-N 年平均值(mg/L)					②類型指定要件			⑤利水及び水質等に基づく類型指定(案)	⑥達成期間設定の必要性	⑦達成期間の設定(案)	あてはめ環境基準達成状況 (H26～R5)	湖沼名
				参考:T-P類型指定当時				現状(R5)				現状(R5)	直近10年の平均値	最小～最大 (H26～R5)	直近10年の水質での類型		T-P 0.02mg/L以上 直近10年の平均	N/P比20以下 直近10年回数						
No.	湖沼名	類型	達成期間	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水													③絞り込み結果
1	栗駒ダム								2級		農業	0.11	0.12	0.07～0.17	Ⅱ (0.2)	○	×	10/10					栗駒ダム	
2	花山ダム								2級	1種		0.15	0.16	0.12～0.23	Ⅱ (0.2)								花山ダム	
3	鳴子ダム									漁獲無し	農業	0.26	0.22	0.19～0.26	Ⅲ (0.4)	○	×	10/10					鳴子ダム	
4	伊豆沼									商業的漁獲なし	農業	1.50	1.15	0.81～1.5	V (1)	○	○	10/10	○	(V) 見送り	○	(ハ) 見送り	2/10	伊豆沼
5	長沼ダム									商業的漁獲なし	農業	0.70	0.59	0.41～0.88	Ⅳ (0.6)	○	○	10/10	○	必要なし	×			長沼ダム
6	漆沢ダム								2級	1種	工業	0.15	0.24	0.14～0.39	Ⅲ (0.4)									漆沢ダム
7	南川ダム				2級	1種	農業		2級	1種		0.31	0.32	0.25～0.45	Ⅲ (0.4)	○	×	6/10						南川ダム
8	釜房ダム			○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業、工業	0.50	0.44	0.36～0.57	Ⅳ (0.6)	○	×	0/10						釜房ダム
9	大倉ダム				1級	1種	農業、工業1級		2級	1種	農業、工業	0.14	0.14	0.12～0.17	Ⅱ (0.2)	○	×	10/10						大倉ダム
10	樽水ダム								2級			0.54	0.40	0.27～0.54	Ⅲ (0.4)									樽水ダム
11	七北田ダム				2級				2級			0.38	0.30	0.18～0.42	Ⅲ (0.4)	○	○	10/10	○	Ⅱ	○	ハ	2/10	七北田ダム
12	セヶ宿ダム			○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業	0.42	0.31	0.25～0.42	Ⅲ (0.4)	○	×	0/10						セヶ宿ダム

【達成期間】
イ:直ちに達成、ロ:5年以内で可及的速やかに達成、ハ:5年を超える期間で可及的速やかに達成

【水域の利用状況(現状)】
・水産については、現在漁業権が設定されている魚種のうち、最上位の水産区分を記載。
・オレンジ色は、変更があった目的
※ ・「人工湖沼における利用目的の適応性に関する課題について」(平成15 年中央環境審議会水環境部会陸域環境基準専門委員会)の見解を踏まえた場合、該当しないこととなる。